

ベトナム・ホイアン市における エコシティ実現に向けた 電動アシスト自転車等の普及活動

〒171-0031
東京都豊島区目白2-3-3
コム産業会館1A
電話:03-6914-3404
E-mail:carfreedayjapan@cfjapan.org
http://www.cfjapan.org/



ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発



電動アシスト自転車貸出利用者ミーティング

| | |
|----------------------|-------|
| 市内の 交通実態調査の実施 | 14カ所 |
| 電動自転車利用実態 (そのまとめ) | 約300人 |
| 今年度計画の達成度 | 70% |
| 活動の全体目標に対する 達成度 | 25% |

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

電動アシスト自転車(日本製)の調達が難航し、数か月、国内・現地において交渉に時間を費やしたこと。

■ 工夫した点

将来的な施策提言に向けた市内の交通データの取得(交通量調査)とその技術移転、地域・学校・行政との協力体制に力を入れたこと。

課題

エコシティであるホイアン市でも、この数年で、自転車からバイク(電動バイクも含む)の急速な転換がみられ、環境だけでなく、市民生活の安全等にも影響が懸念されている。

目標

ホイアン市の規模・地理的特性ではバイクの必要性は高くないため、電動アシスト自転車の利便性・安全性を広く市民に普及啓発し、利用増加を図り、環境負荷を軽減していく。

活動内容と成果

●現地では、科学的に信頼できる交通データがないため、市内主要道路にて交通量調査を行い、交通実態を把握。●子どもたちの通学(送迎)の実態を把握するため、学校4カ所で駐輪調査を2回実施。●スピード制限のある安全

性の高い日本製の電動アシストの自転車を10台調達し、住民・観光客に貸出。12月にはデモンストレーション(試乗体験30人)、1月には貸出利用者のオリエンテーション、3月には利用者ワークショップを行い、普及啓発を行った。(3カ月(1~3月)の貸出利用は約300人回)



観光客に向けたアシスト自転車の貸出

今後の展望

初年度は、電動アシスト自転車の調達が遅れたため、貸出開始も遅れてしまったが、台数が予定より多く調達できたので、次年度はより多くの住民・観光客に体験してもらい、電動自転車の普及啓発に努めたい。